

武蔵野北高等学校 令和7年度（3学年用）教科

国語 科目 発展古典探究

教科：国語

科目：発展古典探究

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～

6組

使用教科書：（高等学校 精選古典探究（第一学習社）

教科 国語

の目標：

）

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 発展古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感した豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通じ積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 語・文 書・読	評価規準	知 思 態 配当時数
-------------	---------	------------------	------	---------------------

1 学 期	大綱 【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとする。・本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考え方や意図を捉えようとする。	・歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の行動に触れる。 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・古典の文や文書の構成、展開のしかたの仕方について理解を深める。 ・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・語句のきまりについて理解を深める。	○	大綱 【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の文の成分の順序や構成特有の表現や展開の仕方について理解を深めている。・古典などを読むことについて理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。・本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考え方や意図を捉えようとしている。	○ ○ ○ 6
	枕草子 【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。	・日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古鏡の文章を読み、その内容や形式などに關注して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。	○	【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。・本文の背景にある宮廷生活の様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	○ ○ ○ 8
	寛葉子 【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。	・日記的章段を読み、その内容や形式などに關注して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。	○	【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。・本文の背景にある宮廷生活の様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	○ ○ ○ 8
	寛葉「不顧後患」・「不若人有其宝」・「不死之道」 【知識・理解】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・古鏡の作品や文章などに表れていて、その見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え方について深めたり深めたりしている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	・古代における臣下の立場を理解するとともに、呉王に対する少孺子の説得の巧みさを読み取る。 ・前半の子罕の逸話と後半の諭説とを読み、人にとっての宝とはどういうもののかを捉える。 ・「不死の道」を知る者の死をめぐる人々の言葉から、「不死の道」についてのそれまでの考え方を読み取る。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考え方や目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○	【知識・理解】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・古典の作品や文章などに表れていて、その見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え方について深めたり深めたりしている。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に逸話を読み、「少孺子が呉王を説得するためによつたことを説明しようとしている。・古鏡の作品や文章などに表れていて、そのことに対する宋の長者の評価について説明しようとしている。・人にとっての宝はどういうものかについて進んで理解しようとしている。・積極的に逸話を読み、「不死の道」についての人々の考え方を説明しようとしている。	○ ○ ○ 10
	定期考査			○ ○ 1	
	源氏物語 【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。	・長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや理窟書きの巧みさを捉える。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに關注して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深めている。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・古典の作品や文章などに表れていて、その見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え方を広げたり深めたりしている。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に逸話を読み、臣下の立場にある少孺子の心情と少孺子が呉王を説得するためによつたことを説明しようとしている。・少孺子が呉王に説得するためによつた理由と、そのことに対する宋の長者の評価について説明しようとしている。・人にとっての宝とはどういうものかについて進んで理解しようとしている。・積極的に逸話を読み、「不死の道」についての人々の考え方を説明しようとしている。	○ ○ ○ 10
	定期考査			○ ○ 1	
	源氏物語 【知識・技能】・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	・構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の心思を読み取る。 ・詩と物語の表現の特色について理解を深める。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに關注して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深めている。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう態度・人間性等】・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。・学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○ ○ 8
	定期考査			○ ○ 10	
	源氏物語」と「白氏文集」 【知識・技能】・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・古典の作品や文章に表れていて、その見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間のものとの見方、感じ方、考え方を深めている。・古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。・古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・「長恨歌」と、この作品から影響を受けて書かれた『源氏物語』桐壺の巻とを読み比べ、登場人物や物語の展開などの類似点を指摘しようとする。	○	【知識・技能】・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・古典の作品や文章に表れていて、その見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間のものとの見方、感じ方、考え方を深めている。・古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考え方を広げたり深めたりしている。 【学びに向かう態度・人間性等】・「長恨歌」と『源氏物語』桐壺の巻とを粘り強く読み比べ、登場人物や物語の展開などの類似点を指摘しようとしている。	○ ○ ○ 10
	定期考査			○ ○ 1	

2 学 期	無名草子 【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方にについて理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう態度・人間性等】・二人の女性作家に関する人物評の構成や内容を粘り強く整理し、理解を深める。	・著名な作品の女性作者二人を二百年后に批評した文章を読んで、歴史の伝承のしきたりの一端に触れる。 ・評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の文や文章の構成、展開のしきたりについて理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方にについて理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう態度・人間性等】・二人の女性作家に関する人物評の構成や内容を粘り強く整理し、理解を深めようとしている。	○ ○ ○ 10
	讀岐典侍日記【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとする。	・重病の天皇に仕えた日々を克明に記した日記を読んで、場面を的確に捉え、人々の心情を読み取る。 ・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○ ○ 10
	諸家の文章、「医業談義」、「売樹者言」、「為学」 【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・必要に応じて書き手の考え方や目的、意団を捉えて内容を解釈することともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深める。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に論議の表現に注意して、書き方、考え方を踏まえ、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	・医業の効能に関する二人の会話を読み、欧阳脩があげた例と、それに対して蘇軾が選じた例の意味を理解する。 ・作者が買った「柑」の実能とそれを売る者の言い分を契機として、作者の目が何に向かっているかを読み取る。 ・句を多用した対比的構造に注意しながら論理の展開を押さえ、論説を行う態度について十数語の会話を読み取る。 ・隨筆、論説について文章の種類や古典特有の表現に注意して構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の考え方や目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・書き手の考え方や目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・訓読のきまりについて理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考え方や目的、意団を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・古典の作品や文章などに表されているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え方を広げたり深めたりしている。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に随筆を読み、欧阳脩と蘇軾があげた例の実能とそれをぞれぞれ説明しようとしている。・蘇軾の発言の意図と、それを聞いた欧阳脩が「大笑」した理由を進んで考えようとする。・積極的に論説を読んで、「柑」を売る者の発言を読んでみると、作者が「雖然無以応」となった理由を説明しようとする。・作者は「柑」の話を通して何を述べようとしたのかを、進んで考えようとする。・積極的に論説を読み、書き手が蜀の邊境に住む二僧の話を取り上げた意図を説明しようとする。・「晉・庸」「聰・敏」が学ぶ者の態度に及ぼす影響の違いを整理するとともに、作者は学問において何が重要だと考えているかを進んで説明しようとする。	○ ○ ○ 10
	定期考査				○ ○ 1
	無名抄 【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。・必要に応じて書き手の意団を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって歴論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとする。・俊恵の評価基準をふまえて、学習課題に沿って和歌を評価しようとする。	・和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、俊恵が考える和歌の評価基準を理解する。 ・歌謡という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の意団を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・必要に応じて書き手の意団を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に随筆を読み、和歌の意団と、それを聞いた俊恵の主張を整理するとともに、作者が「雖然無以応」となった理由を説明しようとしている。・作者は「柑」の話を通して何を述べようとしたのかを、進んで考えようとしている。・積極的に論説を読み、作者が蜀の邊境に住む二僧の話を取り上げた意図を説明しようとしている。・「晉・庸」「聰・敏」が学ぶ者の態度に及ぼす影響の違いを整理するとともに、作者は学問において何が重要だと考えているかを進んで説明しようとしている。	○ ○ ○ 9
	毎月抄 【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。・古文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。・必要に応じて書き手の意団を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって歴論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとする。・俊恵の評価基準をふまえて、学習課題に沿って和歌を評価しようとする。	・定家が本歌取りについて具体的に考察した内容を読み取り、和歌に関する理解を深める。 ・歌謡という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・本歌取りについて述べた古鏡の文章を読み、和歌の修辞について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。・古文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・必要に応じて書き手の意団を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に評価基準をふまえて、学習課題に沿って和歌を評価しようとしている。	○ ○ ○ 8
	史記の群像、「管鮑之交」 【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・必要に応じて書き手の考え方や目的、意団を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解を深める。 【学びに向かう態度・人間性等】・管仲が齊の大夫に任命されるまでの経過を整理するとともに、鮑叔を「鮑子」と呼んだときの管仲の心情を説明しようとしている	・王位繼承をめぐる戦いの経緯を人物関係とともに押さえ、敵味方に分かれた友情の出来を読み取る。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・作者の考え方や目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。	○	【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古文を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考え方や目的、意団を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に史伝を読み、管仲が齊の大夫に任命されるまでの経過を整理するとともに、鮑叔を「鮑子」と呼んだときの管仲の心情を説明しようとしている。	○ ○ ○ 8
	定期考査				○ ○ 1
3 学 期		共通テスト・過去問演習、個別指導			○ ○ ○ 12
					○ ○ ○ 9
	定期考査				○ ○ ○ 8
					○ ○ ○ 140

